

トランジェント・アピカル・ブレイクダウン

外傷歯の歯髄治癒

トランジェント・アピカル・ブレイクダウン (Transient Apical Breakdown: 以下 TAB と略す) とは直訳すると、「一次的な根尖部の破壊 (崩壊)」となる。本来この現象は、脱臼性の外傷を被った歯根完成歯において、壊死に陥った歯髄が生活反応を取り戻す際にみられる、一連の炎症と修復現象 (治癒) に対して名づけられたものである。

TAB のメカニズム

1) 外傷直後

根尖部で脈管が断裂し、歯髄死が生じる。

2) 外傷 1~3 ヶ月後

おそらく、出血と歯髄死が引き金となり、根尖部で炎症反応が起こると考えられる。炎症反応の過程では破骨細胞が出現してくることから、これにより根尖部で骨吸収が生じ (骨透過像が現れ)、同時に歯根吸収も生じると考えられる。歯根吸収は根尖の外側と根管の内側の両方に生じると考えられる。

3) 外傷 3 ヶ月~半年後

結果的に (炎症による歯根吸収により)、根尖孔が開いた状態が作りだされることで、歯髄腔への脈管の増殖が可能になる。その後は、歯根未完成歯の再植でみられる歯髄の治癒と同じ治癒経過が期待できると考えられる。もちろん、歯髄死した組織に感染がないことが条件である。また、吸収を受けた外側の歯根表面は、炎症の消退とともに新付着で修復されると考えられる。すなわち、既存の歯根膜がセメント質を添加しながら吸収された歯根表面に増殖してくると考えられる。

TAB が期待できる年齢と外傷の種類

臨床では 17 歳くらいまでの患者に TAB は期待したいと考えている。

外傷の種類では、亜脱臼が最も期待できるが、挺出性脱臼や側方性脱臼でも期待できる。しかし、脱離や埋入では TAB はほとんど期待できないことが報告されている。すなわち、歯の変位が大きくなるほど、TAB の起こる確率が小さくなると考えられる。

